令和５年度　松戸市立常盤平中学校　学習の指針（シラバス）

教　科	美　術

学　年	1年

１　学習の目的

■　造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
■　豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げる。
■　楽しく美術の活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく姿勢を持つ。

２　学習計画

	学習内容	学習のねらい
１学期	①レタリングをしてみよう。 「レタリング（明朝体・ゴシック体）」 「創作文字」 ②明暗を表現しよう。 「明暗のグラデーション」 「影のグラデーション」 ③色の学習（色の感情） 「色相環」 「水彩色鉛筆の使い方」 「暖色系と寒色系の配色」 ④合唱コンクール自由曲ポスターを作成しよう。 「イメージ画の作成」 「ポスターの作成」	・字体の特徴を学び、心地よくバランスの取れた文字が作成でできるように工夫する。 ・自由な発想で、文字から受ける印象をデザイン化する。 ・鉛筆の濃淡を工夫し、自然なグラデーションを工夫する。 ・円筒形にあたる光によりできる影をグラデーションで表現する。 ・色相環を作成することにより、同系色・補色の関係を視覚的に捉える。 ・色鉛筆の濃淡、混色、水を使った時の色の表情など、水彩色鉛筆の使い方のバリエーションを知る。 ・目的にあった色を選ぶことにより、色の感じ方が変わることを感じる。 ・イメージ画作成により、最適な文字・絵の配置を考え、全体的な構図を捉える。 ・配色、塗りの工夫などを通して、自分のアイディアを表現する。
２学期	①クラスのシンボルマークをデザインしよう。 「テーマの決定」 「デザインの作成」 「鑑賞」（学級代表の決定） ②パターンアートの作成 「基本の形の作成」 「パターンの型取り」 「彩色」 ③年賀状を描こう。 「年賀状のレイアウト」 「デザインの作成」	・どのような学級にしたいかを話し合うことにより、学級に対しての帰属意識を持つ。 ・シンボルを決定し、学級に対しての気持ちを表すデザインを考える。 ・お互いの作品を鑑賞し、良さを学ぶ。 ・単純な基本の形が、型取りを繰り返すうちに複雑なデザインになっていく様を通して、形が織りなす変化を楽しむ。 ・同系色、補色を意識しながら、自由な発想で彩色を工夫する。 ・文字、絵のバランスや大きさを考え、贈る相手に対しての心を込めた年賀状を作成する。
３学期	①線画アートの作成 「立体のデザイン」 「平面のデザイン」	・パターン化された線で描かれたデザインにグラデーションで色を付けることにより、立体に見えるように工夫する。 ・丸や四角、曲線など自由な発想で、平面的なデザインを創作する。

３ 評 価

項 目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	ワークシート、作品、自己評価表、観察
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。	
主体的に 学習に取り組む態度	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心を培い、心豊かな生活を創造していこうとしている。	

４「確かな学力」のためのアドバイス

1. 美術科の学習について…毎時間の目標を確認し、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組みましょう。
2. 授業のきまり…授業準備を整えて参加しましょう。自他の作品や物は大切にしましょう。後片付けまで誠実に行いましょう。
3. 授業で使う道具…鉛筆（H、HB、2B、4B）、クロッキー帳、水彩色鉛筆、水彩絵の具、タブレット等。
4. 授業中の少人数学習…題材によって３人から４人のグループで行うことがあります。
5. 家庭学習…好きなアニメを模写したり、身近なものを５～10 分位でスケッチしたり、気軽に描く習慣を身につけましょう。
6. 可能であれば美術館などで、本物の作品を鑑賞し、鑑賞ノートに記録しておきましょう。

令和５年度　松戸市立常盤平中学校　学習の指針（シラバス）

教　科	美　術

学　年	２年

１　学習の目的

■　造形的な視点を理解し、意図に応じて自分の表現方法を追求することができるようにする。
■　豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
■　主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していく姿勢を持つ。

２　学習計画

	学習内容	学習のねらい
１学期	探求と継承（オリエンテーション） 透視図法 真鍮キーホルダー 作品鑑賞会 空想の世界①	文化に込められた願いをどのように未来に継承するかを考える。 表現の基礎としての立体表現の方法を学ぶ。 単純化や強調をマークのデザインを通して学び、制作に生かす。 友達の作品を鑑賞し、その良さを味わう。 自由曲を鑑賞し、その世界観を平面表現する。
２学期	空想の世界② 作品鑑賞会 構想画 作品鑑賞会 マグカップの絵付け	空想画に曲名等をレタリングし、作品として仕上げる。 友達の作品を鑑賞し、その良さを味わう。 「夢」や「希望」等をテーマに植物や生き物のある構想画をタッチステンドで表現する。 友達の作品を鑑賞し、その良さを味わう。 自分のマークをマグカップに絵付けし、普段使いの作品を作る。
３学期	絵巻物の世界（鑑賞） 鳥獣人物戯画の部分模写 ２枚の屏風絵の比較鑑賞 文化の継承（鑑賞）	絵巻物に関心をもち、主体的に鑑賞する。 模写を通じて水墨画の良さを味わう。 それぞれの特徴やよさを比較しながら鑑賞する。 新薬師寺の12神将の鑑賞を通じ、文化の継承を考える。

３　評　価

項　目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	ワークシート、作品、自己評価表、観察
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	
主体的に 学習に取り組む態度	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していこうとしている。	

４「確かな学力」のためのアドバイス

1. 美術科の学習について…毎時間の目標を確認し、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組みましょう。
2. 授業のきまり…授業準備を整えて参加しましょう。自他の作品や物は大切にしましょう。後片付けまで誠実に行いましょう。
3. 授業で使う道具…鉛筆、クロッキー帳、水彩色鉛筆、タブレット,そのほか各自の制作に必要と思われるものを準備しましょう。
4. 授業中の少人数学習…題材によって 3 人から 4 人のグループで行うことがあります。
5. 家庭学習…好きなアニメを模写したり、身近なものを 5～10 分位でスケッチしたり、気軽に描く習慣を身につけましょう。また、タブレットを用いて、コマ撮りアニメ制作などにもチャレンジしてみましょう。可能であれば美術館などで、本物の作品を鑑賞し、鑑賞ノートに記録しておきましょう。

令和５年度　松戸市立常盤平中学校　学習の指針（シラバス）

教　科	美術

学　年	３年

１　学習の目的

■　造形的な視点を理解し、意図に応じて自分の表現方法を追求することができるようにする。
■　豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
■　主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していく姿勢を持つ。

２　学習計画

	学習内容	学習のねらい
１学期	探求と継承（オリエンテーション） 気持ちを形に（抽象彫刻） 作品鑑賞会 空想の世界①	文化に込められた願いをどのように未来に継承するかを考える。 自分の中にある様々な気持ちを形にしてみる。 友達の作品を鑑賞し、その良さを味わう。 自由曲を鑑賞し、その世界観を平面表現する。
２学期	空想の世界② 作品鑑賞会 美術の歴史 学校の風景（スクラッチタイル） 額縁彫刻 作品鑑賞会	空想画に曲名等をレタリングし、作品として仕上げる。 友達の作品を鑑賞し、その良さを味わう。 人間の感性と創造の歴史を鑑賞し、様々な時代の特色や魅力を味わう。（ワークシート） 校内の思い出の場所をスクラッチタイルに表現する。 タイルを入れる木製の額縁を彫刻する。 友達の作品を鑑賞し、その良さを味わう。
３学期	SDGsを考える。 作品鑑賞会	SDGsに示された17の目標の一つを選び、その内容を調べる。 選んだ目標のロゴマークを新たに考える。 友達の作品を鑑賞し、その良さを味わう。

３　評　価

項　目	評価の内容	評価の方法
知識･技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	ワークシート、作品、自己評価表、観察
思考･判断･表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	
主体的に 学習に取り組む態度	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していくことができる。	

４「確かな学力」のためのアドバイス

1. 美術科の学習について…毎時間の目標を確認し、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組みましょう。
2. 授業のきまり…授業準備整えて参加しましょう。自他の作品や物は大切にしましょう。後片付けまで誠実に行いましょう。
3. 授業で使う道具…鉛筆、クロッキー帳、水彩色鉛筆、タブレット、そのほか各自の制作に必要と思われるものを準備しましょう。
4. 授業中の少人数学習…題材によって 3 人から 4 人のグループで行うことがあります。
5. 家庭学習…好きなアニメを模写したり、身近なものを 5～10 分位でスケッチしたり、気軽に描く習慣を身につけましょう。また、タブレットを用いて、コマ撮りアニメ制作などにもチャレンジしてみましょう。可能であれば美術館などで、本物の作品を鑑賞し、鑑賞ノートに記録しておきましょう。